

地方通信



織手克く道路を修理す

八月三日の日曜のこと、仙臺市長町郡山字籠の瀬部落では水害による道路決済でひどく困り抜いてゐたが何せ畑の損害も多いので部落民がその方にかゝつてゐるので道

路の方は勤労奉仕團の援軍を待つてゐた。無論男子の頑健な人達を待つてゐたわけ、ところがこの奉仕部隊として乗り込んだのが何とスカートをひらめかしたお嬢さん部

隊、午前七時部落に勢揃ひしたものゝ奉仕部隊も部落もちよつとびつきり、奉仕部隊は仙臺鐵道局經理部審査課の職業婦人計五名だ、先般同課員百四十八名が「のぞみ會」を組織大いに勤労奉仕で統領を守らうと

ハリキッて第一回申込みを市役所に届け出た、部落だといふので多分畑の芋掘りでも

……と思つて來たのが道路人夫だ、話し合ひの結果、畑の草取りとなつたが、これを聞いた娘子群は頑としてきかない。

「男のやうに行かないかも知れないが、道路をやつて見たい」これから婦人は男子に代つて土方でも鑛夫でもやつて行かねばならぬと決意に動かされ、直ちに十班に別れて作業開始、シャベルを持つ、モツコを

擔ぐ、五、六町もある目茶苦茶の村道が再建されて行く……汗みどろになりながらも

建設の喜びだ、娘子群が疲勞も忘れて働き続

播州の放射道路着工す

三部制の善後措置として兵庫縣が計畫中

派に復舊した女の隠で仕事をやり遂げたのだ、部落民だけでも二、三日はかかるだらうと測定した道路であるだけに部落民も驚嘆したが、引率して行つた審査課東山書記も驚いた——東山書記は語る。

そろばんやベンを持つ女の子がこれ程やるとは思はなかつた。例へ弱い婦女子でも

國體の力は大きい、これから得た教訓と體験、更に大きい、然し都會の勤労奉仕隊がこれがため農村を抜け得ると思つてはいけない、この事をよく訓示したところですが

何處までも「お役に立つなら使つて貰はう」といふ氣持を失つては駄目だと思ひます。今後も求めに應じて出勤しますが正しい方向に指導せねばと責任の重大なのを感じてります。

と示唆に富んだ言葉で結んだ。(氣仙生)

三木線の兩放射道路は愈よ工事に着手することになり八月十三日須磨寺遊園地で縣、市會議員、各方面有力者を招待、起工式を舉行した。右兩線は總工費一千萬圓、五ヶ年繼續事業で完成の曉は神戸播州を結ぶ道路は三本となる、神戸港の發展に寄與するところ大なるものがあらう。

【明石線】は工費六百十萬圓、延長一五・六キロ、幅員一一米、コンクリート鋪装、

神戸市天上川附近を起點に武庫離宮前から須磨公園下に至り、鐵拐山を約四六〇メートルトンネルで抜け、終點は明姫國道に繰がる明石郡林崎村小久保である、須磨寺附近は風致地區であり、これを害はぬため北側を中心工事が進められる、起點から終點までのトンネルは五ヶ所あり、關係町村は垂水町、明石郡伊川谷村、玉津村、林崎村で勾配は二〇分の一カーヴの非常に大きなことが特徴である。

【三木線】は延長二二・八キロ、幅員市内一六米、郡部八米五〇板宿山陽電車停留所

を起點に奥妙法寺に出て既設縣道を西下市郡界に出で、さらに既設三木線に沿ふて三木町に入る、關係市町村は神戸、明石郡伊川谷村、押部谷村、美嚢郡志染村、別所村、三木町でトンネルは奥妙法寺、市郡界の二ヶ所ある、この道路は將來神戸港及び裏日本を連絡する重要道路でコンクリート鋪装することになつてゐる。(明石生)

七尾市道の全面的改修

市制實施二周年をむかへた港都七尾では港灣の修築をはじめこれに伴ふ陸上施設の完成促進とともに大七尾建設計畫の第一指起債財源を見こして二十萬四千七百六十一圓の工事費を決議し清水市長はこれが許可運動に關係方面へお百度をふんだが力およばず結局要求額の約四割僅か八萬四百十三圓の許可を得て川原町から七尾驛前に通ずる道路ほか九線延長六千百十二米の改修工

事を三ヶ年繼續事業として實施することになつたのであるが、さらに十六年度は事業計畫を變更し八萬四千三百九圓を投じて左記六線延長七千米の改修を行ふべくさる七日招集した市會の決議によつて七萬三千圓の起債を申請極力實現に邁進することになつた。

△十六年度計畫路線△和倉町より石崎町にいたる線延長千七百米△西濱地區新保町より同赤浦町にいたる線延長六百五十米△矢田郷地區藤橋町より同藤野町にいたる線延長九百米△德田地區千野町より同江曾町にいたる線延長千七百米△東濱地區佐野町より同白池町にいたる線延長千三百五十米△矢田郷地區古城町より同小池川原町にいたる線延長七百米

國 縣 道 變 更

岡山縣では縣内の國道、府縣道のうち左記十五區域の道路變更を十九日から實施の旨同日縣公報で告示した。

▽國道二號線—淺口郡里庄村里見字砂田

二、五九三番ノ一地先より同所二、六〇

一番ノ二に至る間を砂田二、五九三番ノ

一地先より同所二、六一一番ノ一地先を

經て同所二、六二八番ノ一地先に變更、
その間延長七五メートル餘、幅員六メー

トル五

▽府縣道倉敷字野線—倉敷市船倉町字南出

口一、二五一番ノ二地先より同市新田字

丙辰一、二九七番ノ三地先に至るおよび
新田字名田二、二九四番ノ一地先より同

所二、三六五番地先に至る間を南出口一、

二五一番ノ二地先より新田字名田二、二

九四番ノ一地先を經て同所二、三六五番

地先に變更、延長二〇六四メートル幅員

七メートル

▽同寄島笠岡線—淺口郡寄島町字菰池一

〇、六八四番ノ三地先より同所一〇、六

八二番ノ四地先に至る間延長六〇メート

ルを四二メートル(幅員五メートル五)に

短縮

▽同長尾金光線—淺口郡金光町下竹字竹坂

一、八〇二番ノ二地先より同所一、八三

五番地先に至る間を竹坂一、八〇二番ノ

一地先より同所一、八〇八番ノ一地先を

經て同所一八三五番地先に變更、延長二

七〇メートル、幅員五メートル五

▽國道二號線—小郡郡城見村大宣字城山

一、六〇四番地先より金浦町吉濱字鹽濱

六二番地先に至る間延長五五メートル餘

を四六メートル餘(幅員六メートル五)に

短縮

▽府縣道高梁津山線—眞庭郡落合町里水字

宮ノ上五五三番地先より同所字長畑一八

三番地に至る間を宮ノ前四九八番ノ二地

先より字妙見四五番ノ三地先を經て字

横町二五二番ノ二地先に變更、延長四四

二メートル餘、幅員七メートル五

▽同線—上房郡大瀬村字ヘロリ七三三番ノ

一地先より字鳥居涉り五、〇九三番地先

に至る間を字ヘロリ七二三番ノ一地より

字前五、〇九七番地先を經て鳥居涉より

先より同所五、四四〇番地先を經て宮本

五、〇九三番ノ三地先に變更、延長一五

〇メートル、幅員六メートル五

▽國道二十二號線—玉野市田井字中原道北

田、七一五番ノ二地先より同所字中塚一

七三六番ノ一〇地先に至る間を田井深田

四、一九二番地先より字橋本一、八二五

番地先を經て字中塚一、七三六番ノ三地

先に變更、延長六四七メートル、幅員七

メートル五

▽府縣道庭瀬妹尾線—都窪郡吉備町庭瀬字

三ツ田半役一、〇九三番ノ二地先より同

郡福田村妹尾橋字茶山一八番地に至る間

を三ツ田半役一、〇九三番ノ二地先より

同町撫川字葭野七〇九番ノ一地先及福田

村妹尾崎字入江一一三番ノ一地先を經て

字茶山一一八番地先に變更、延長二七九

メートル餘、幅員六メートル五

七、〇五一番地先に變更、延長六六三メ

一メートル、幅員五メートル五

▽同倉敷字野線—兒島郡藤戸町天城宮大佐

古七三五番地先より字川向六〇三番地先

に至る間を大佐古七三五番地先より同所

六五五番ノ一地先を經て川向六〇三番地

先に變更、延長四六〇メートル、幅員七

メートル

▽同箭箭田西阿知停車場線—吉備郡二萬村上

二萬字木村四二三番ノ四地先より字中村

四八七番ノ一地先に至る間を木村四二三

番ノ四地先より中村沖二、四六〇番ノ一

地先を經て同所二、四五九番ノ三地先ニ

變更、延長九七メートル、幅員五メートル

△同岡山小串線—兒島郡甲浦村宮ノ浦字伊

恵門新開二、七二八番地先より字高島免

二、九四六番地先に至る間を宮ノ浦長崎

地先を經て字高島免二、九四六番地先に

變更、延長一七五メートル、幅員五メー

トル五

▽同刑部高梁線—阿哲郡丹治部村布瀬字ト

イシ元三九一一番地先より字土井ノ内三〇

〇番地先に至る間を布瀬字辨財天三九三

番ノ一地先より宇堂ノ前二八五番地先を

經て宇木谷道石角田二九九番地先に變更

延長二七四メートル、幅員五メートル五

▽同新見勝山線—阿哲郡刑部町永富字芝尾

七七六番地先より字赤石一、〇〇五番ノ一

番ノ一地先より同所一、〇〇五番ノ一地

先を經て同所一、〇〇四番ノ二地先に變

更、延長四四メートル、幅員五メートル

五

る延長五里的縣道の愛護作業を實施したが

此日午前七時椎名、三津、高岡、坂本、

津呂、菜生、耳崎の各部落會員並に國民

學校青年學校生徒は在所の神社に集合し

銃後奉公を誓ひ立會指導者の命令一下砂利

採取と撒布不陸均し除草等の作業に從事

した折柄縣より村上道路書記、安藝土木

出張所よりは水田主幹、三宮北村所員を

帶同立會して由井町長の案内で全線を巡

き奉仕ぶりは自ら立會者をして臉を熱せ

しめた、かくて作業は正午を過ぎてもな

ほやまず午後四時一人の落伍者もなく終

了、それよりの神社學校に集合し一日の作

業を神前に奉告してこの日の行事を終つ

た。

△同岡山小串線—兒島郡甲浦村宮ノ浦字伊

恵門新開二、七二八番地先より字高島免

二、九四六番地先に至る間を宮ノ浦長崎

地先を經て字高島免二、九四六番地先に

變更、延長一七五メートル、幅員五メー

縣道愛護作業

橋梁に鐵無用

高知縣安藝郡東部における模範道路愛護

町として知られてゐる室戸岬町においては

緊迫せる時局に直面し盛り上る奉公の熱々

時局下鋼鐵資材の代用品研究が世界各國

で競争的に行はれてゐる折柄、木材即ち壓

縮木板梁をもつて代用し優に鋼鐵の強靱さ

に匹敵し得るといふ研究がこのほど佐賀縣土木課勤務の若き技師調張氏によつて完成され土木日本に凱歌をあげた、しかも工業化にも十分確信が持てるといはれる。

この鋼鐵桁の代用品「壓縮木板梁」とは

鐵道橋、道路橋に最も多く使用されてゐる鋼鐵桁、いはゆるガードと同一形式であつて、たゞこの桁の腹材たる鋼鐵を木材をもつて代用したもので今まで板の強度が幅の方向の力に對して非常に弱くまた長大なる板を製することが困難なため實現出来ないものとされてゐたのであるが調技師は板の梁軸に傾斜材を配することによつて遂にこの研究に見事實を結ばせたのである。

調技師は語る。

ドイツではワグナー博士、ガーハー博士等が理論案出に早くから手をつけられてゐたのでドイツの第二次四ヶ年計畫には相當應用されてゐると思ふ、しかしそれは明かにはされてゐないこの構造方法によれば現在中經間（十米乃至十五米）の鐵道橋道

路橋に使用されてゐる鋼鐵桁鐵筋コンクリート桁は完全に木造梁によつて代用され、なほ元來型鋼を以て構造されてゐた工場、

倉庫建築用の大梁、走行クレーン用軌條梁

の構成もまた容易に出来るのである。

國民におくる防諜訓七則

非常時 下防諜が急務とされてゐる折柄防諜協會では豫て平易で適切な防諜訓及び防諜實踐事項を製作中であつたが、この程完成したので、十二日官廳、會社、工場用、都市用、農山漁村用の三種合計五萬部を全國各地の防諜團體を始め各種團體、會社、工場その他主要都市の公共團體等へ配布した、防諜訓は

△防諜訓

一、日本は今戰争をしてゐることを忘れるな

二、外國の第五列になるな

三、日本精神に返れ

四、國民は持場職場で全力を擧げて御奉公せよ

五、國民は一致團結せよ

六、役にも立たぬ得にもならぬことを喋るな聽くな

七、尊嚴なる我が國體を振興せよ

の七則、實踐事項は官公營會社工場「各自持場の生産能力生産設備などを講らぬこと、お互に不平不満の原因を除き協力一致生産擴充に努力すること、軍の演習、移動召集、出征期間等を率りに講らぬこと」などを強調した十七項あり、都市に向ては「買漁りをして店頭に行列を作ることは敵性國スパイの好餌になるから即時中止すること、變だと思つた時は直ちに憲兵或ひは警察と連絡を探ること」等の十三項目、また農山漁村へ向けては「勞力生産資材の不足米價等に不満を抱き農村を離れることを促すような言動を慎むこと、流言蜚語に惑はず政府を絶対に信頼して國策の遂行に協力すること」など強調した十二項がそれゝ附記され

てゐる。